令和８年度　さいたま市立土呂中学校　学校だより

見沼のほとり

第　６　号
令和８年９月２５日

学校教育目標　　主体的に生きる人間の育成　≪意欲・健康・豊かな心≫

深まる秋・実りの秋

校　長　　竹　本　久　子

日が暮れる時刻が早くなり、すっかり秋めいてきました。９月は、例年にない秋雨前線の活発な動きにより、線状降水帯が発生し、日本各地で大雨による甚大な被害が生じました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さいたま市でも大雨警報が発令され、９月７日（月）は市内一斉休校措置となりました。引き続き、安全に気を付けながら教育活動を進めてまいります。季節の変わり目でもありますので、体調管理にも十分御留意ください。

さて、「秋は何事にも取り組むのによい季節」といわれています。学校も多くの行事が予定されています。その中でも、今回はスポーツの秋、芸術の秋の代表である部活動の新人体育大会と合唱コンクールについて紹介します。

９月１８日（金）に、新人体育大会壮行会が行われ、新部長より大会に向けての意気込みが語られました。１、２学年の生徒たちはこの大会に向けて、夏の暑い時期も練習に励み、力をつけてきました。９月２４日（木）からの陸上部の大会を皮切りに、いよいよその力を発揮する新人体育大会が始まります。今まで練習に取り組んできた時間を自信に変え、最後まで粘り強く試合に臨む姿を期待しています。

また、１０月２３日（金）には本校体育館を会場とし、合唱コンクールが開催されます。１学期末にクラス発表曲が決定し、すでに練習が始まっています。それぞれのクラスの個性あふれる合唱曲の完成が楽しみです。一年で一番歌声の響く時期。秋は土呂中に心豊かな時間をたくさん届けてくれます。

先日、本校図書室で、かわいいイラストが表紙の小さな一冊を見つけました。その本には、不安な気持ちを楽にしてくれるアドバイスとなるような行動のヒントがたくさん掲載されていました。その中のいくつかを紹介させていただきます。

◇ひとつずつこなしていけば、必ずゴールへたどりつく。
　～高い山だって、一歩ずつ登れば必ず頂上にたどりつく。～
◇誰よりも、自分の味方になろう。
　～自分を責めるのではなく、自分を応援しよう。～
◇一日に一度、誰かが笑顔になることをしよう。
　～一日一善は、楽しく生きるためのルール。～

出典：
『ポチャッコの「道は開ける」』
朝日文庫編集部　2019 年 2 月

日一日と深まる秋、土呂中生の多くの場面での活躍に、引き続き温かい御支援と御協力をお願いいたします。